

福岡県における県がん診療連携拠点病院の推薦について

本県の総合的かつ計画的ながん対策の推進のために、九州がんセンターと九州大学病院の2病院を推薦する。

1. 県がん診療連携拠点病院に2病院を推薦する理由

福岡県におけるがん医療は、県外からの患者の流入も認められることから、九州全域を網羅する必要があるといっても過言ではない。そのため、より高度で広範囲ながん医療の提供が求められる。

両病院とも、県がん診療連携拠点病院としての要件を充分満たしているが、がん診療情報ネットワークやがん登録については九州がんセンターがより優れた機能を持っている。一方、高度で専門的ながん医療の提供や専門医師の育成等には、大学病院の主体的関与が必須であり、福岡県では、県内4大学が「九州がんプロフェッショナル養成プラン」として、共同で実施することとなっており、九州大学病院は、その代表として、他の3大学病院から推薦を受けている。

現在、がん対策やがん医療に対する県内の医療機関の関心は非常に高まっており、今年度のがん診療連携拠点病院指定を希望する病院も多かった。このような状況の中、県内のがん医療を牽引し、医療機関間のネットワークを構築するためには、九州がんセンターと3大学病院の推薦を受けた九州大学病院が互いに協力し合い、先駆的・指導的役割を果たしていくことが必要不可欠である。

以上のように、福岡県における県がん診療連携拠点病院指定については、この2病院共に選定することにより、県内の機能が最大限に活用することが可能となり、地域のがん医療提供体制の充実を図ることができる。

	九州がんセンター	九州大学病院
診療実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新入院がん患者数 5,142人(全入院の90.1%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新入院がん患者数 6,860人(全入院の37.7%)
教育・研修機能	<ul style="list-style-type: none"> ・県「がんに関わる看護師の育成研修」の受託 ・九州がん懇話会(H17～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省「九州がんプロフェッショナル養成プラン」の申請大学
がん登録	<ul style="list-style-type: none"> ・院内がん登録(S47～) 総登録腫瘍数36,642腫瘍 登録対象者数1,600～2,000腫瘍/年 ・院内がん登録ブロック別研修開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・院内がん登録(H19.1月～)
診療情報ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・がん政策医療ネットワークの九州基幹病院(H11～) ・全国がん(成人病)センター協議会加盟 がん診療施設情報ネットワークによる多地点メディカルカンファランス(全国16ヶ所のがん専門施設を結んだテレビ会議システム) ・九州・山口小児がん研究グループ事務局 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・県内唯一のがん医療に特化した病院 ・腫瘍バンク(H9～) 生体試料の採取・蓄積・電子化管理 ・地域がん診療連携拠点病院指定(H14.8月～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定機能病院 ・県内3大学病院からの推薦